

ゴールデンウィーク中の家畜防疫対策強化について

ゴールデンウィーク中は、海外悪性伝染病の病原体が日本国内に侵入するリスクが特に高くなります。家畜を飼養している皆様は、伝染病発生国への渡航はできるだけ慎み、農場への入場者の渡航歴確認など、飼養衛生管理基準を厳守し、防疫対策の徹底をお願いします。

- ◎ 中国を始めとする東アジアの各国、ロシア、ヨーロッパでアフリカ豚熱の発生が拡大
- ◎ 3月には中国で口蹄疫が発生 ◎国内で豚熱(67例)・高病原性鳥インフルエンザ(52例)が発生
- ◎ 海外からの旅客の持ち物(豚肉製品)からアフリカ豚熱ウイルス遺伝子が95件検出、うち4件で感染力のあるウイルスが検出

- ◆アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航は極力控えてください
- ◆万一渡航される場合は、以下の点に留意してください
 - ・家畜市場、農場、と畜場などの畜産関連施設へは立ち入らない
 - ・動物との接触を避ける
 - ・肉製品等を日本に持ち帰らない
 - ・帰国の際には、空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り指導を受ける
- ◆帰国後の留意事項
 - ・帰国後1週間は、国内農場の衛生管理区域に入らない
 - ・海外で使用した衣服や靴等を畜舎付近に持ち込まない

- ◆衛生管理区域への病原体侵入防止について
 - ・必要のない人を立ち入らせず、不要な物を持ち込まない
 - ・人や物を入れる場合は、洗浄・消毒等実施し、病原体を持ち込まないようにする



飼養衛生管理基準の再徹底をお願いします

～家畜に異常を認めたら、直ちに当所に連絡願います～